

令和8年度以降の進め方について

来年度以降の検討事項等

- 来年度は、今年度の実証実験やケーススタディで得られた処理能力等の指標を基に、自動物流道路及び周辺交通の交通量・事業シミュレーションを実施する。
- 令和8年度も既存施設等での実証実験を引き続き実施し、ユースケースの一連実施や複数台走行時等のデータ取得を行うとともに、令和9年度中に実施予定の新東名高速建設中区间での実証実験に向け、検証項目の整理を行う。
- ケーススタディについては精査を進めるとともに、本線と拠点の接続方法について検討を行う。

<コンソーシアムでの議論事項>

▶ ビジネスモデル分科会

- ・交通量シミュレーションにあたっての需要等ヒアリング
- ・自動物流道路のKGIの設定に向けた議論(提供すべきサービス)

▶ オペレーション分科会

- ・R8年度の実証実験の実験項目
- ・R9年度実証実験(フェーズ2実験)に向けた議論

R8年度実証実験(予定) ※初夏を目途に公募を行う。

- ・R7年度に設定したユースケース1~6の一連での検証
- ・複数台の搬送機器での走行(車間距離、連動制御、分合流等)
- ・閉鎖環境下での自動運転技術の簡素化 等

▶ インフラ分科会

- ・ケーススタディ区間での事業コスト・期間に関する精査
- ・本線と拠点接続に関する検討

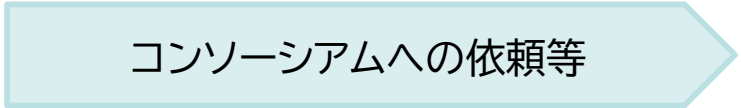
※必要に応じ、各分科会での成果の報告等のため自動物流道路の実装に向けたコンソーシアム分科会を合同で開催する。

令和8年度のコンソーシアムスケジュール(案)

	2026年度			
	4~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
コンソーシアム(全体会)		実験見学		● 実験結果等の共有
ビジネスモデル分科会	交通量シミュレーター設計 に向けたヒアリング KGI設定 に向けた 検討 ▼分科会 ・シミュレーション ・KGIに関する議論	ルートや拠点配 置等のシナリオ 設定 ▼分科会 ・R8実験計画	シミュレーション	▼分科会 ・シミュレーシ ョン結果の共有 (データセット の公表) ・KGIの設定
オペレーション分科会	実証実験 準備 ● 実験公募 ▼分科会 ・実験計画	▼分科会 ・R8実験計画 実証実験	実証実験 ● 実験結果の とりまとめ	R9実験に向けた議論 準備 ▼分科会 ・実験計画
インフラ分科会	精査する論点 の設定(断面等)	ケーススタディに関する議論 ▼分科会 ・ケーススタディ精査 ・本線-拠点接続に関する検討		▼分科会 ・事業シミュレ ーションへの反映 等 ・本線-拠点接 続に関する検討

凡例


 事務局側作業


 コンソーシアムへの依頼等

 ※必要に応じ、分科会(2回程度)を開催する。
 ※年度末に合同分科会を予定。